

おんしつだんち 温室団地

所在地：淡路市 釜口



「輝く温室」淡路市 山本喜一氏撮影
(第1回淡路島景観フォトコンテスト 審査員特別賞受賞作品)



「シンメトリー」洲本市 板東愛加氏撮影
(第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品)



温室団地

淡路市では、温暖な気候を利用した花卉栽培が盛んです。昭和7年(1932)に始められ、昭和30年(1955)に入るとガラス温室の導入など、技術革新にともない収穫量、品質が高まりました。現在は、釜口築を中心とした大規模な温室団地において、カーネーションを中心に県内シェアの90%を占めています。

温室暖地では、夏から秋にかけて害虫防除を目的に黄色蛍光灯を点灯します。暗闇に浮かび上がる温室団地の景観は、淡路島の地域に根ざした生業を感じさせます。

温室団地周辺では、切花の即売所も多数あり、最近ではカーネーションの抽出液をつかった染物や陶器などの関連商品の開発にも取り組まれています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道東浦 IC から、国道28号を北上、車で15分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図